

平成26年度 事務事業評価調書（平成25年度実績分）

事務事業名	市単河川浸水対策事業				
所管部局	都市建設部	部局長名	山本 頼男	予算事業名	〇市単河川浸水対策事業費
所管部署	河川水路課	所属長名	久保 一夫	予算事業科目(平成26年度)	010803030190

1 事業の位置付け

2011 高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け					
施策の大綱	05 まちの環	施策取組方針	豪雨や地震などの自然災害に備えて、浸水対策や山がけ崩れ対策を進めるなど、被害の予防に努めるとともに、臨時ヘリポートや耐震性貯水槽などを備えた防災公園の整備を進めます。 また、被災後の速やかな復旧を可能とする体制整備を進めます。		
政策	28 安全安心の都市空間整備				
施策	83 災害に強い都市基盤の整備				
2 事業の根拠・性格		法定受託事務			
法律・政令・省令	地方自治法, 河川法				
県条例・規則・要綱等					
市条例・規則・要綱等					
その他(計画, 覚書等)	2011高知市総合計画				

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	高知市民(市街化区域内)			
意図	どのような状態にしていくのか	市街化区域内の浸水被害の解消や生活環境の改善を図り、災害に強いまちづくりを目指す。			
手段	事業実施体制等	工事請負及び調査設計業務委託	事業開始年度	-	
			事業終了年度	-	
活動内容	どのような事業活動を行うのか	排水路の改修・拡幅整備並びに排水機場の機能拡充・築造など。			
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方		
	A	予算額(最終)に対する決算額(%)	執行額で予算の進捗を測る。		
	B				
	C				

4 事業の実績等

			23年度	24年度	25年度	26年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	予算額(最終)に対する決算額(%)	目標 100	100	100	100	H23~H26 種崎地区排水路整備 H26~ 神田地区排水路整備	
		実績	65	55	100			
	B	目標						
		実績						
	C	目標						
		実績						
投入コスト	① 事業費	決算額(千円)	28,700	29,260	60,166	18,000	種崎地区排水路整備費用負担 県20% 市80%	
		財源内訳	国費(千円)					
			県費(千円)					
			市債(千円)	22,960	23,368	47,400		16,900
			その他(千円)	5,740	5,852	12,766		1,050
			一般財源(千円)	0	40	0		50
	翌年度への繰越額(千円)	15,300	25,120					
	② 概算人件費等	人件費等(千円)	0	0	0	0		
		正規職員(千円)	0	0	0	0		
		その他(千円)						
		人役数(人)						
		正規職員(人)						
		その他(人)						
	総コスト=①+②(千円)		28,700	29,260	60,166	18,000	総コスト/年度末人口	
市民1人当たりコスト(円)		85	86	179				
年度末住民基本台帳人数(人)		337,875	338,397	336,845				

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

排水機能の弱い地域で水路整備など、排水対策を行うことにより、台風や集中豪雨などによる浸水不安が、解消され安心安全の市民生活が保たれる。

6 所属長評価

評価項目		評価基準	1次	平均点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	5.0	本事業は、「安全・安心の都市空間整備」のため、災害に強い都市基盤の整備を目的としており、市総合計画（第1次実施計画）の趣旨に合致している。 また、都市化の進行に伴い土地利用の変化と、近年の気象変動による局地的なゲリラ豪雨等により、各地で浸水が頻繁に発生していることから、市民の浸水不安解消に向け、今後も、事業推進が求められている。
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない	A		
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	A	5.0	成果の達成状況は概ね順調である。 事業成果向上のため、関係機関および課とも調整を行い効率的に事業推進を図っている。
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	A		
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	A	5.0	技術者育成の面からも、可能な限り市職員での実施を検討していく。 公共下水道事業との整合性を図りながら、効率的な整備を検討していく。
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	A		
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	A	5.0	本事業は、浸水地区を対象に行っているものであり、これまでに、各浸水地区の河川及び排水機場を、改修整備している。 本事業は、起債（自然災害）にて実施しており、受益者負担の視点には馴染まない。
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	A		
総合点	20.0	総合評価	<input checked="" type="radio"/> A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) <input type="radio"/> B 改善を検討し、事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) <input type="radio"/> C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合) <input type="radio"/> D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 部局長評価

総合評価	評価理由・今後の方向性等
<input checked="" type="radio"/> A 事業継続	所属長評価のとおり
<input type="radio"/> B 改善を検討し、事業継続	
<input type="radio"/> C 事業縮小・再構築の検討	
<input type="radio"/> D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項

--